平成30年度 予算事業説明シート

			- 								
		税務事務事業	新規/継続	継続事業	薬の総点 整理番号 011	117601000-001					
事務事業名	務事業名	(元行) 学 行 学术	予算所管課	総務局税務							
			連絡先	(078)918-5	072						
関	会計	一般会計	事業所管課								
連	款	総務費	連絡先								
関連予算科	項	徴税費	自治/法定	自治事	務	開始年度	開始年度 不				
科	目	税務総務費									
田	事業	税務事務事業		地方税法、明石市固定資産評価審査委員会条 例、明石市固定資産評価審査委員会規程							
施策分野		6 行政経営分野	- 女侧寸	例、明句印画是具度計圖番重安員云观性							
		6-5 健全財政の推進	実施方法	直営	0	補助・助成		その他			
			大 心力法	委託		指定管理					

目的(誰を・何を、どういう状態にしたいのか)

固定資産評価審査委員会を円滑に効率よく運営し、審査申出に対して適正な審査決定を行うことで、納税者の評価への不 服に対応するとともに、固定資産評価の公平に寄与する。

目 成果指標

の

ı	的	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
п	· 目標		_		1	
	尓	_	_		_	

①審査委員会の開催

固定資産税の納税者より固定資産評価審査申出書が提出された場合に、固定資産評価審査委員会を開催する。

【委員構成】弁護士 1名 不動産鑑定士 1名 税理士 1名 【申出物件数】平成27年度 2件 平成28年度 0件 平成29年度 2件(見込)

【開催回数】平成27年度 10回 平成28年度 3回 平成29年度 10回(見込)

②研修会への参加

申出内容の多様化・複雑化に対応するため、研修会への参加を行っている。また、3年に一度の固定資産評価替え年度のみ、先進都市への視察を行って いる。(平成27年度:相模原市)

事業内容

	事業のコスト						± \							29年度人員配置(人)			
	(単位:千円)		(参考他)	(参考信	旦/	国•	県支出金	地方債		その他特定財源		一般財源					
	28決算	142	4,860	5	,002		430,368	8 0			0 -425		正規	0.60	アルバイト	0.00	
	29当初予算	981	4,860	5	,841		432,000		0		0	-426,159	再任用	0.00	その他	0.00	
	30当初予算	1,394	4,860	6	,254		437,000		0		0 -430,746		任期付	0.00	合計	0.60	
	区分(節)	区分(節) 内容				金	額	区分(節) 内容						金額			
2	報酬	委員報酬(15回分)					641	3	3 報酬			委員報酬(20回分)				854	
9 年度当初	旅費	研修等旅費					15	年度	年 旅費			研修等旅費				215	
	需用費	消耗品費等(研修テキスト代等)					13	13 割 無用費 消耗品費等(研			毛品費等(研修	多テキスト	~代等)	13			
予算	役務費	不動産鑑定費等					300			加産鑑定費 等	F			300			
事業費	使用料及び賃 借料	会場借上料				事 党 党 サ 世 世 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日			及び賃	び賃会場借上料				12			
質明細																	
-1744	合計(A)						981							1,394			
予算増減 (B)-(A) は まな 固定資産の評価替えに伴い、審査委員会の回数増が見込まれることによる 理由 酬の増												よる報					

平成30年度 予算事業説明シート

				<u> </u>							
		市税賦課徴収事務事業	新規/継続	176	601000-002						
	事務事業名	川饥风际以从争办争未	予算所管課	総務局税務							
			連絡先	(078)918-5072							
月		一般会計	事業所管課								
į	款	総務費	連絡先								
う		徴税費	自治/法定	自治事	務	開始年度	不明				
	Į B	賦課徴収費									
E	事業	市税賦課徴収事務事業	根拠法令 • 要綱等		明石	市市税条例	₹例				
	施策分野	6 行政経営分野	- 女欄寸	施行規則							
	心来力封	6-5 健全財政の推進	実施方法	直営	0	補助・助成		その他			
	個別計画		大心力丛	委託	0	指定管理					

目的(誰を・何を、どういう状態にしたいのか)

納税者に対して適正、公平な賦課を行い、効率的な徴収及び収納を実施することで、歳入の確保に資する。

の

の					
目	成果指標				
的	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
• 目標	徴収率	収入額÷調定額 (市稅合計)	平成29年度	%	95
「示					

①市県民税の課税を行う。

- ②固定資産税・都市計画税の課税を行う。
- ③軽自動車税の課税を行う。
- ④事業所税の課税を行う。
- ⑤その他諸税の課税を行う。
- ⑥市税の収納、還付等を行う。 ⑦市税の徴収及び滞納処分を行う。
- ⑧市税に関する広報を行う。
- ⑨市税各種証明書の発行を行う。

事業内容

	事業のコスト (単位:千円)	事業費 人件費 総事業 (参考値) (参考値			HE'S								29年度人員配置(人)				
			(夕うに)			リュア 国・県支出金		也方債	その他特定財源		一般財源						
	28決算	277,536	664,630	942	,166	0		0	81	,663	860,503	正規	70.90	アルバイト	1.00		
	29当初予算	348,943	641,440	990	,383	0		0	72	,327	918,056	再任用	0.00	その他	5.00		
	30当初予算	354,762	641,440	996	,202	0		0	52	,316	943,886	任期付	19.00	合計	95.90		
	区分(節)		内容			金額	区分		(節)		内	容		金額			
2	需用費	消耗品費等(賦課徴収にかかる 消耗品費等)				25,092	3				 耗品費等(賦課徴収にかかる 耗品費等)				25,681		
年度	役務費	通信運搬費、広告料、手数料				6,242	年度	後務費 通信運搬費、D			言運搬費、広·	告料、手	数料		6,162		
当初	委託料	納税通知書 託、固定資産			96,477	当 委託料 納税通知書封 託、固定資産							142,026				
予算	負担金補助及 び交付金	地方税ポータルシステム事業(管子申告)関連負担金				11,464	予算				方税ポータルシステム事業(電 申告)関連負担金				11,424		
事業費	償還金利子及 び割引料	市税償還金				200,000	事業費	償還金 び割引	還金利子及 市税償還金 割引料						160,000		
1 明細	その他	旅費、使用料及び賃借料				9,668		その他 旅費、使用料及び			び賃借料			9,469			
,,,,		合計(A)				348,943							354,762				
予算増減 (B)-(A) 5,819 事業所税の課税開始に伴うシステム改修等による委託料の増(+40,000) 還付実績の精査による償還金利子及び割引料の減(▲40,000) 個人市県民税・固定資産税の賦課徴収に係る委託料の増(+5,000)																	